

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 20 日現在

機関番号：14501

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2016

課題番号：26381129

研究課題名(和文) 日本およびフランスの高等教育改革に関する比較研究

研究課題名(英文) Comparative Study on Higher Education Reform in Japan and France

研究代表者

白鳥 義彦 (SHIRATORI, Yoshihiko)

神戸大学・人文学研究科・教授

研究者番号：20319213

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：研究課題として設定した、「大衆化」と「卓越化」との二律背反の相克、高等教育の「自由化」政策と大学のカバナンス、大学評価の諸相、教養教育とキャリア教育、それらの全般的背景としての高等教育改革の歴史的展開過程、という5つのテーマを軸に、日仏両国の比較研究を進めた。とりわけ、中央集権的とされる日仏両国での高等教育のあり方の共通点と相違点や、19世紀末、第二次世界大戦後、1960年代末、そして中心的課題である現代といった、大学界が大きな変化を見た時期における、日本およびフランスの高等教育改革のあり方の共通点と相違点等に、研究成果を得ることができた。

研究成果の概要(英文)：We have conducted our comparative research on higher education reform in Japan and France focusing on the five themes we have set: (1) conflict of trade-off between "popularization" and "excellence", (2) "liberalization" policy of higher education and the question of governance, (3) aspects of university evaluation, (4) relation between liberal arts education and career education, (5) the process of historical development of higher education reform as a general background of those. We were able to obtain research results, in particular, on the common points and differences of higher education in these two countries which are considered centralized state; on the common points and differences of the way of higher education reform in Japan and France at the end of the 19th century, after the World War II, at the end of the 1960s and especially in recent years.

研究分野：社会学、教育社会学

キーワード：高等教育 日本 フランス 国際研究者交流

1. 研究開始当初の背景

日本とフランスの高等教育はいま同じような問題を抱え、その困難はますます深化している。両国の高等教育がともに直面しているのは、「大衆化」と「卓越化」という二律背反的な課題に同時に対処することが求められるという課題であり、さらに、高等教育において進行しつつある「グローバル化」の中で、それぞれの国のナショナルな歴史や伝統を無視して行われる「世界の大学ランキング」等に翻弄される様相も見られる。そうした状況の中、「事前統制から事後評価へ」という言葉に象徴的に示されるような自由化を推進する方向性が政策として進められ、各国、また各大学は、競争的な環境にますます置かれつつある。従来は「象牙の塔」という言葉に象徴されるように、ともすれば俗世間から一定の距離を置いて大学が研究、教育を行うことも可能であったかもしれないが、そうした状況を過去のものとする、職業教育への志向を求める動きや、産学連携といった声の高まりなども、近年の大学の変容を示すものとして看過できない。

各国は、新たな高等教育のあり方を求め、改革を進めている。日本では3期目の中期計画が視野に入りつつある国立大学の法人化や、機関評価の義務化がなされ、またフランスでも「大学の自由と責任に関わる法律(LRU)」による大学の組織運営の変化や、新たな評価機関としての研究・高等教育評価機関(AERES)の導入、研究・高等教育拠点(PRES)の具体化等に示される大きな変革の動きが見られる。

本研究では、こうした、高等教育をめぐる近年の大きな変化を踏まえ、そこで進められている諸改革について、あらためてその意味やそこに含まれる諸問題を検討していくことを目指す。高等教育や研究体制が時代に即して改革を進めていくことは確かに必要であろうが、同時に、それらの真にあるべき姿を求めていくこともまた必要であろう。本研究では、こうした大きな枠組みを念頭に置きながら、具体的な諸問題に関する考究を進めていきたい。両国の高等教育の歴史を踏まえながら、とりわけ2000年代以降の改革がどのような変化をそれぞれの高等教育システムにもたらしているかを分析し、今後の大学のあるべき姿へのより確かな展望を拓きたい。

2. 研究の目的

2000年代以降の日本とフランスにおける高等教育改革を、それぞれのシステムの歴史と構造を踏まえながら比較する。今日の高等教育の普遍的な困難さは様々な次元において見出すことが可能であるが、本研究ではそうした諸困難とそれへの対応の諸相を具体的に明らかにするために、研究を進めていく主たる軸として、「大衆化」と「卓越化」との二律背反の相克、高等教育の「自由化」

政策と大学のガバナンス、大学評価の諸相、教養教育とキャリア教育、それらの全般的背景としての高等教育改革の歴史的展開過程、の5つを設定する。こうした考察を踏まえ、近年の大学改革の論理とそこから生じ得る諸問題とを明らかにし、さらには単なる状況把握に留まることなく、高等教育の本質的な意味をあらためて問い直すことを目指す。

3. 研究の方法

「大衆化」と「卓越化」との二律背反の相克、高等教育の「自由化」政策と大学のガバナンス、大学評価の諸相、教養教育とキャリア教育、それらの全般的背景としての高等教育改革の歴史的展開過程、の5つのテーマを軸に研究を深める。は、理念的ならびに歴史的な観点を含む大学論の検討を踏まえ、これらを対照軸としながら今日の様相の特徴を明らかにする。は、政策的な展開を明らかにした上で、現実の諸問題を具体的に検討する。は、制度ならびに実施プロセス、結果の影響を特に取り上げる。は、両者の対比的な視点をもとに、大学教育のあり方そのものを考察する。は、節目をなす諸改革に特に注目し、今日に至る流れを理解する。いずれのテーマも、文献研究とともに、フランスのアレゼールとの議論や、日仏の大学人や教育行政担当者との対話等を通じて、「制度」のレベルにとどまらない「実態」のレベルでの解明を行っていく。

4. 研究成果

研究開始当初の背景、研究の目的、研究の方法に記した内容を踏まえながら、本研究課題の研究に3年間取り組んできた。この間、論文、学会発表、図書といった形で、下記に示されているような研究成果を公表してきた。

本研究を通じて、日本とフランスの高等教育の共通する困難な現状がまず明らかとなった。例えば、「世界の大学ランキング」等に象徴的に示される高等教育の「グローバル化」の動きの中で、フランスでは研究・高等教育拠点(PRES)あるいはその後継の大学・機関共同体(COMUE)といった形で、高等教育・研究機関の国際的なプレゼンスを高めようとする動きが見出される。また日本でも、ランキングの指標も意識しながら、例えば留学の派遣・受入を増加させると称する施策が打ち出されてきている。また、職業教育、産学連携や社会実装といった言葉で、教育研究の応用的な局面がますます強調されている。本研究では、具体的な側面に着目しながら、こうした新たな方向性によって両国の高等教育が変容を遂げつつある様相の一端を明らかにすることができた。

また本研究では、日本およびフランスの国際比較という観点から研究を進めていくことによって、インパクトのある重要な成果を

得ることができた。日本においては国際的な比較を行う際には、英米といったアングロサクソンがまず注目されることが多いが、フランスのようなヨーロッパの大陸側の国を比較研究の対象とすることは、アングロサクソン諸国とは異なる大学のあり方を考えていくためにも非常に重要である。また日本およびフランスは中央集権的な国として一般に把握されるが、そうした共通性ととも、両国の相違を明らかにすることは日本の大学改革の特徴を一層明らかにするために有効である。特に、19世紀末、第二次世界大戦後、1960年代末、そして現代といった、大学界が大きな変化を見た時期における、日本およびフランスの共通点と相違点を明らかにしてきたことは、本研究の成果である。

2017年2月には、フランスから3名の研究者を招聘して、3年間の研究を締めくくると位置づけられる国際シンポジウムを2回開催した。両シンポジウムでは、日本の私立大学について、大学のガバナンスについて、大学の理念、エリートと社会科学、日仏高等教育比較の意義、高等師範学校への歴史的な視点、知識人と大学、1960年代末の大学闘争の今日的意味等、多様な観点から議論を展開することができた。

本研究を通じて、日仏両国における近年の高等教育の変容の様子を明らかにすることができた。時代に応じて高等教育や研究体制の改革を進めていくことは確かに必要であろうが、同時に、それらの真にあるべき姿を求めていくこともまた必要であるということがあらためて確認された。今後も、こうした大きな枠組みを念頭に置きながら、具体的な諸問題に関する考究を進めていきたい。さらに、両国の高等教育の歴史を踏まえながら、とりわけ2000年代以降の改革がどのような変化をそれぞれの高等教育システムにもたらしているかをより深く分析し、本研究の成果を踏まえつつ、今後の大学のあるべき姿をいっそう探究していきたい。こうした研究を進めていくためには、目の前にある現象として近年の諸動向をとらえるだけでなく、歴史的な展開の中に位置づけて理解する視点が重要であり、大学のあるべき姿としての理念的な観点とともに、日仏両国の高等教育の改革の過程を理念的・歴史的な観点を持ちながらとらえ直していくことがより必要となる。こうした研究を今後も進めていきたい。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計18件)

中村征樹、「技術と学問のあいだ 実学化と純化に揺れた革命期の学問」、『学術の動向』、査読無、22巻2号、2017、32-36

大前敦巳、「戦前東京における官立大学のキャンパス拡張 東京文理科大学創設に

向けた高等師範学校の事例を中心に」、『上越教育大学研究紀要』、査読無、36巻2号、2017、308-317

https://juen.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=7276&item_no=1&page_id=13&block_id=30

白鳥義彦、「特集紹介 日仏高等教育改革比較」、『社会学雑誌』、査読無、31・32合併号、2016、1-2

上垣豊、「19世紀フランスの学部(ファキュルテ)における職業教育と学生 学位、資格、学生の管理」、『社会学雑誌』、査読無、31・32合併号、2016、3-21

大前敦巳、「1960年代の大学改革における「中教審路線」の社会的位置 新構想大学創設に向けた政策形成に着目して」、『社会学雑誌』、査読無、31・32合併号、2016、22-42

白鳥義彦、「フランス高等教育改革の評価と展開」、『社会学雑誌』、査読無、31・32合併号、2016、43-51

大前敦巳、「パリ地域圏における大学拡張過程」、『上越教育大学研究紀要』、査読無、36巻1号、2016、31-39

https://juen.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=7203&item_no=1&page_id=13&block_id=30

白鳥義彦、「フランスにおける研究助成体制」、『紀要』(神戸大学文学部)、査読無、43号、2016、75-87

<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/repository/81009429.pdf>

大前敦巳、「戦後フランスの高等教育計画と新大学創設」、『上越教育大学研究紀要』、査読無、35巻、2016、22-33

https://juen.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=7119&item_no=1&page_id=13&block_id=30

上垣豊、「近代フランスにおける大学と権力」、『史潮』、査読有、新80号、2016、18-34
隠岐さや香、「職業としての科学者 その歴史から見る現代」、『談:speak, talk, and think』、査読無、105号、2016、35-50、53-56

大前敦巳・石黒万里子・知念涉、「文化的再生産をめぐる経験的研究の展開」、『教育社会学研究』、査読有、97号、2015、125-164

大前敦巳、「1980年代以降のパカロレア80%目標に伴うフランスの大学改善 新設大学の取り組みを事例として」、『日仏教育学会年報』、査読有、21号、2015、19-28

白鳥義彦、「新刊紹介 岡山茂著『ハムレットの大学』新評論、2014年」、『日仏教育学会年報』、査読無、21号、2015、73-75

大前敦巳、「1960年代における新構想大学創設に向けた「計画」のキャッチアップ」、『上越教育大学研究紀要』、査読無、34巻、

2015、67-77

https://juen.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=6835&item_no=1&page_id=13&block_id=30
白鳥義彦、「ルイ・リアールとフランス第三共和政の高等教育改革」、『紀要』(神戸大学文学部) 査読無、40号、2014、119-140
<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/repository/81008305.pdf>

上垣豊、「フランス第三共和政初期の師範学校改革 『共和国の黒衣の軽騎兵』養成機関廃止論争をめぐって」、『龍谷紀要』、査読無、36巻1号、2014、45-62

http://opac.ryukoku.ac.jp/webopac/r-ky_036_01_005._?key=NZPTTC

上垣豊、「フランス近代のエリート教育」、『歴史と地理 世界史の研究』、査読無、679号、2014、57-60

[学会発表](計48件)

岡山茂、「市民とは誰か、市民のための大学とは何か」、大学評価学会第14回全国大会シンポジウム「大学・大学評価の原点を探る」、2017年3月4日、龍谷大学(京都府)

白鳥義彦、「フランスの大学と日本の大学：比較の視点から」、『知識人、学生、そしてすべての人のための大学』国際シンポジウム、2017年2月18日、日仏会館(東京都)

大前敦巳、「東京高等師範学校の拡張と消滅 戦前師範教育の過ちを繰り返さないために」、『知識人、学生、そしてすべての人のための大学』国際シンポジウム、2017年2月18日、日仏会館(東京都)

岡山茂、「サンボリストのためのマラルメの想像的大学、ドレフュス事件と詩の危機のはざままで」、『知識人、学生、そしてすべての人のための大学』国際シンポジウム、2017年2月18日、日仏会館(東京都)

Christophe Charle, *Présentation du Livre La vie intellectuelle en France* (deux tomes, éditions du Seuil, 2016) et communication « Transformations universitaires et évolution de la vie intellectuelle en France depuis les années 1880 jusqu'aux années 1960 », 『知識人、学生、そしてすべての人のための大学』国際シンポジウム、2017年2月18日、日仏会館(東京都)

Charles Soulié, *Les intellectuels français, mai 68 et l'utopie du Centre universitaire expérimental de Vincennes* », 『知識人、学生、そしてすべての人のための大学』国際シンポジウム、2017年2月18日、日仏会館(東京都)

Frédéric Neyrat, « La validation des acquis de l'expérience dans l'enseignement supérieur : bien loin de

l'utopie vincennoise d'une université ouverte à tous... », 『知識人、学生、そしてすべての人のための大学』国際シンポジウム、2017年2月18日、日仏会館(東京都)

上垣豊、「L'Université Ryukoku dans le contexte historique des universités privées au Japon」、『日仏高等教育国際シンポジウム』、2017年2月16日、龍谷大学(京都府)

Frédéric Neyrat, « Autonomie des universités et renforcement de leur gouvernance: conciliation ou contradiction? », 『日仏高等教育国際シンポジウム』、2017年2月16日、龍谷大学(京都府)

Charles Soulié, « Idées d'université et contre révolution managériale », 『日仏高等教育国際シンポジウム』、2017年2月16日、龍谷大学(京都府)

Christophe Charle, « Élités et sciences sociales en France, du néo-saint-simonisme à la psychologie des foules (1945-201...) », 『日仏高等教育国際シンポジウム』、2017年2月16日、龍谷大学(京都府)

中村征樹、「日本の研究公正の現状と課題」、『科学技術社会論学会第15回年次研究大会』、2016年11月6日、北海道大学(北海道)

白鳥義彦、「テキストから見るデュルケム受容」、『第89回日本社会学会大会』、2016年10月8日、九州大学(福岡県)

岡山茂、「大学はいま危機にあるのか 大学の歴史の日仏比較から見えるもの」、『2016年日仏教育学会シンポジウム「教育する大学 21世紀の像をめぐって」』、2016年10月2日、千葉工業大学(千葉県)

大前敦巳、「戦前期の首都圏における国立大学拡張に関する日仏比較」、『2016年度日仏教育学会』、2016年10月2日、千葉工業大学(千葉県)

白鳥義彦、「学問の制度化と大学におけるデュルケムの講座」、『第68回日本教育社会学会』、2016年9月17日、名古屋大学(愛知県)

大前敦巳、「東京高等師範学校卒業生の社会的地位 日本型 転換の戦略 の一断面」、『第68回日本教育社会学会』、2016年9月17日、名古屋大学(愛知県)

Shiratori, Yoshihiko, "Comparative Study on Japanese and French University System and Recent Reforms," 3rd ISA (International Sociological Association) Forum of Sociology, 2016年7月13日、University of Vienna, ウィーン(オーストリア)

大前敦巳、「東京文理科大学昇格に向けた高等師範学校の拡張過程」、『日本高等教育学会第19回大会』、2016年6月26日、追

- 手門学院大学(大阪府)
白鳥義彦、「フランスにおける『大学学長会議』」、日本高等教育学会第19回大会、2016年6月26日、追手門学院大学(大阪府)
- ②① 白鳥義彦、「フランスにおける《学長会議》」、『日本およびフランスの高等教育改革に関する比較研究』研究会、2016年3月29日、龍谷大学(京都府)
- ②② 大前敦巳、「戦前日本における官立大学のキャンパス拡張過程」、『日本およびフランスの高等教育改革に関する比較研究』2016年3月29日、龍谷大学(京都府)
- ②③ 岡山茂、「大学のフランスモデルとその展開」、『日本およびフランスの高等教育改革に関する比較研究』研究会、2016年3月29日、龍谷大学(京都府)
- ②④ 上垣豊、「Collectif ACIDES, *Arretons les frais! Pour un enseignement gratuit et emancipateur, Raison d'agir*, 2015 を読んで」、『日本およびフランスの高等教育改革に関する比較研究』研究会、2016年3月29日、龍谷大学(京都府)
- ②⑤ 白鳥義彦、「大学の過去・現在・未来 日本とフランスの比較から」、『2015年度第2回久敬会(大阪府立茨木高等学校同窓会)ミニ講演会』、2016年1月24日、久敬会館(大阪府)
- ②⑥ 中村征樹、「研究不正への対応と責任ある研究活動の推進 評価の観点から」、『日本評価学会第16回全国大会』、2015年12月13日、JICA 沖縄国際センター(沖縄県)
- ②⑦ Fujimoto, Kazuisa, "Condition of Possibility of Japanese Otaku Culture," The Seventh East Asian Humanities Forum, 2015年12月4日、Taiwan National University, 台北(台湾)
- ②⑧ 白鳥義彦、「フランスにおける研究助成体制」、『2015年日仏教育学会』、2015年10月25日、北星学園大学(北海道)
- ②⑨ 岡山茂、「フランスにおける高等教育の無償性について」、『2015年日仏教育学会』、2015年10月25日、北星学園大学(北海道)
- ③⑩ 大前敦巳、「パリ地域圏における大学拡張過程」、『2015年度日仏教育学会』、2015年10月25日、北星学園大学(北海道)
- ③⑪ Shiratori, Yoshihiko, "Comparative Study on University Entrance Examination in France and in Japan," 第67回日本教育社会学会、2015年9月9日、駒澤大学(東京都)
- ③⑫ 大前敦巳、「ブルデューとリンガーにおける文化的再生産の歴史社会学 高等教育の変容とその比較の方法をめぐって」、『第7回教育の歴史社会学コロキウム』、2015年8月22日、電気通信大学(東京都)
- ③⑬ 大前敦巳、「戦後フランスの高等教育計画と新大学創設」、『日本高等教育学会第18回大会』、2015年6月28日、早稲田大学(東京都)
- ③⑭ 川嶋太津夫・丸山文裕・山本清・白鳥義彦・王師、「大学の経営管理職と学術管理職の相互作用に関する国際比較研究 日米の調査結果から」、『日本高等教育学会第18回大会』、2015年6月27日、早稲田大学(東京都)
- ③⑮ Oki, Sayaka, "Innovation and its Intellectual History: The Necessity of Questioning our Built-in Framework," The Workshop 'Engaging Society in Innovation and Creativity', 2015年6月2日、L'Ecole des Hautes Etudes en Sciences Sociales, パリ(フランス)
- ③⑯ 中村征樹、「研究公正における信頼の問題」、『信頼研究の学際化』第1回ワークショップ、安全信頼技術研究会、2015年5月30日、大阪大学(大阪府)
- ③⑰ 上垣豊、「H. ボーツ・F. ヴァケ著、池端次郎・田村滋男訳『学問の共和国』(知泉書館、2014年)へのコメント」、『H. ボーツ・F. ヴァケ著、池端次郎・田村滋男訳『学問の共和国』(知泉書館、2014年)合評会』、2015年3月29日、放送大学広島学習センター(広島県)
- ③⑱ 白鳥義彦、「国立大学法人化以後の政策展開 フランスとの比較とともに」、『日本およびフランスの高等教育改革に関する比較研究』研究会、2015年3月17日、神戸大学(兵庫県)
- ③⑲ 岡山茂、「大学と教養」、『日本およびフランスの高等教育改革に関する比較研究』研究会、2015年3月17日、神戸大学(兵庫県)
- ④⑩ 大前敦巳、「戦後フランスの経済社会発展計画と高等教育政策」、『日本およびフランスの高等教育改革に関する比較研究』研究会、2015年3月17日、神戸大学(兵庫県)
- ④⑪ 隠岐さや香、「イノベーション政策と大学」、『日本およびフランスの高等教育改革に関する比較研究』研究会、2015年3月17日、神戸大学(兵庫県)
- ④⑫ 上垣豊、「19世紀フランスにおける学生のソシアビリテ 管理の対象から学問共同体のメンバーへ」、『日本およびフランスの高等教育改革に関する比較研究』研究会、2015年3月17日、神戸大学(兵庫県)
- ④⑬ 中村征樹、「Communicating "Science in Action": Lessons Learned from March 11 and the STAP Affaire」、『第11回日独学術コロキウム』、2015年1月16日、ゲッチンゲン大学、ゲッチンゲン(ドイツ)
- ④⑭ 白鳥義彦、「フランス高等教育改革の評価と展開」、『2014年度日仏教育学会』、2014年11月29日、大阪大学(大阪府)
- ④⑮ 大前敦巳、「1980年代以降のパカロレア 80%目標に伴うフランスの大学改善」、『2014年度日仏教育学会、招待講演』、2014年11月29日、大阪大学(大阪府)

- ④⑥大前敦巳、「1960年代における新構想大学創設に向けた「計画」のキャッチアップ」、日本教育社会学会第66回大会、2014年9月13日、松山大学(愛媛県)
- ④⑦ Shiratori, Yoshihiko, "Comparative Study on Vocational Education in Japan and in France", XVIII ISA (International Sociological Association) World Congress of Sociology, 2014年7月16日, Pacifico Yokohama (神奈川県)
- ④⑧白鳥義彦、「フランスにおける大学の組織運営」、日本高等教育学会第17回大会、2014年6月28日、大阪大学(大阪府)

〔図書〕(計7件)

白鳥義彦(研究代表者) 神戸大学、『日本およびフランスの高等教育改革に関する比較研究』、2014年度~2016年度科学研究費補助金 基盤研究(C)研究成果報告書、2017、392

隠岐さや香『『有用な科学』とイノベーションの概念史』岩波講座現代 第2巻 ポスト冷戦時代の科学/技術』所収、中島秀人編、岩波書店、2017、304(67-90)

上垣豊、『規律と教養のフランス近代 教育史から読み直す』ミネルヴァ書房、2016、384

広島大学大学院総合科学研究科編、隠岐さや香他、『世界の高等教育の改革と教養教育 フンボルトの悪夢』丸善出版、2016、166

ARESER, Christophe Charle et Charles Soulié (dir.), contenant les articles de SHIRATORI Yoshihiko, OKAYAMA Shigeru, OHMAE Atsumi, *La dérégulation universitaire: La construction étatisée des « marchés » des études supérieures dans le monde*, Paris: Syllepse et Québec: M Éditeur, 2015, 352

- Omae, Atsumi, « Les politiques de création de « nouvelles universités » au Japon dans les années 1960: une comparaison avec les cas français », 89-103

- Shiratori, Yoshihiko, « Réformes de l'enseignement supérieur au Japon et hiérarchisation croissante des universités », 105-118

- Okayama, Shigeru, « L'Université d'Hamlet. Humanités et universités japonaises après Fukushima », 167-185

大前敦巳・園山大祐、「第4章 フランス学力二極化に対する共和国の挑戦」、志水宏吉・山田哲也編『学力格差是正策の国際比較』、査読無、岩波書店、2015、121-147

岡山茂、『ハムレットの大学』、新評論、2014、304

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1)研究代表者

白鳥 義彦 (SHIRATORI, Yoshihiko)
神戸大学・大学院人文学研究科・教授
研究者番号: 20319213

(2)研究分担者

岡山 茂 (OKAYAMA, Shigeru)
早稲田大学・政治経済学術院・教授
研究者番号: 10308132

大前 敦巳 (OMAE, Atsumi)
上越教育大学・大学院学校教育研究科・教授

研究者番号: 50262481

上垣 豊 (UEGAKI, Yutaka)
龍谷大学・法学部・教授
研究者番号: 80183747

隠岐 さや香 (OKI, Sayaka)
名古屋大学・大学院経済学研究科・教授
研究者番号: 60536879

中村 征樹 (NAKAMURA, Masaki)
大阪大学・全学教育推進機構・准教授
研究者番号: 90361667

藤本 一勇 (FUJIMOTO, Kazuisa)
早稲田大学・文学学術院・教授
研究者番号: 70318731

(3)連携研究者

(4)研究協力者

クリストフ・シャルル (Christophe, CHARLE)
パリ第一大学・教授

シャルル・スーリエ (Charles, SOULIÉ)
パリ第八大学・准教授

フレデリック・ネイラ (Frédéric, NEYRAT)
ルーアン大学・教授